



二葉だより

令和5年4月28日 NO.2
墨田区立二葉小学校
校長 山崎 隆



校歌

校長 山崎 隆

4月6日の始業式は、校庭で4年ぶりに全校児童が集まって行われました。当日は朝から天候が怪しく、小雨模様の中で転入児童や職員の紹介、校長講話、担任発表と進み、6年生児童代表の言葉が終わったところで式は終了となりました。本来なら最後にみんなで校歌を歌うのですが、残念ながら歌えませんでした。

私は、始業式で校歌を歌うのをとても楽しみにしていました。なぜなら次のような経緯があったからです。令和4年度の卒業式は久しぶりに校歌の斉唱が行われましたが、それまでは新型コロナウイルス感染症予防のため、式場に歌入り音源を流していました。私が二葉小学校に着任した令和2年度から校歌を歌う場面はすべてそうでした。ですから、卒業式が校歌を歌う初めての場となり、歌詞が曖昧だった私は、印刷された歌詞を見ながら歌うことになりました。これは校長としてとても恥ずかしいことです。私は、「次に歌うときにはしっかりと覚えて歌詞を見ないで歌おう」と決意しました。その日から歌詞を校長室に貼って、時間があれば常ににらめっこです。しかし、なかなか憶えられません。音楽の山形扶美子先生に「二葉小の校歌って3番まであって、昔の言葉や難しい表現が多くて憶えるのが大変ですね」と弱音を吐くと、「確かに大変ですけど、1・2・3番それぞれにストーリーがありますよ」と教えてくれました。私はその言葉を聞いて、3年前にコロナ禍で歌が歌えない時に、山形先生が校歌の意味やストーリーを子供たちに考えさせる授業を行っていたことを思い出しました。それから私は、1・2・3番それぞれの場面をイメージして憶えました。ですから、始業式で子供たちと一緒に校歌を歌うのを楽しみにしていた私は、雨を一層恨めしく思いました。

現在の校歌は2代目で、1923(大正12)年の関東大震災で曲の原本が失われ、復興に際して当時の先生方や卒業生の記憶をもとに音楽専科の赤松先生が採譜し、西山先生が浄書して原本としたのだそうです。歌詞は現在のもので違って4番までありました。以下に当時の歌詞を紹介します。

♪ 二葉小学校・旧校歌 ♪

- | | |
|--|--|
| 1 学びの園に入りたちて
君と親とのみめぐみを
しばしが程も忘れずに
み国を思うみちならむ | 2 人を親しみいつくしみ
人の助けをまたずして
わが身を立てて学びやの
ほまれをあげよ世の中に |
| 3 勤めんときはよく勉め
遊ばんときはよく遊び
もののきまりを守りなば
教えを受けしかいあらむ | 4 二葉萌え出しはじめより
忘れず守れ師のおしえ
やがて春風ふきたたば
花の色香ぞあらわれむ |



今年度は、全校で校歌を歌う場面が戻ってきます。子供たちと一緒に元気に歌いたいと思います。